

令和3年度使用  
中学校用教科用図書  
採択参考資料

道 徳

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	道徳 701・801・901
17 教出	道徳 702・802・902
38 光村	道徳 703・803・903
116 日文	道徳 704・705・804・805・904・905
224 学研	道徳 706・806・906
232 廣あかつき	道徳 707・708・807・808・907・908
233 日科	道徳 709・809・909



# 道 徳

## I 教科用図書の調査研究に当たって

### 1 調査対象教科用図書

2 東書 17 教出 38 光村 116 日文 224 学研 233 廣あかつき 233 日科

### 2 調査研究の観点

- (1) 道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることができる内容であるか。
- (2) 心身の発達段階に適応した教材が取り上げられており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 「A主として自分自身に関すること」「B主として人との関わりに関すること」「C主として集団や社会との関わりに関すること」「D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の視点に含まれる全ての内容項目の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 表記や表現、写真や挿絵等が適切であり、学習意欲を喚起するよう配慮されているか。

### 3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるよう配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいよう配慮している。

## II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究…………… 観点(3)(4)
  - ① 内容項目別教材数
  - ② 総頁数
  - ③ 教材を複数担当している内容項目（視点別）
- (2) 考えを深める学習に関すること…………… 観点(1)
  - ① 問題解決的な学習について
  - ② 道徳的行為に関する体験的な学習について
  - ③ 言語活動を充実する学習について
  - ④ 情報モラルや現代的な課題について
- (3) 生徒の生活や経験及び興味や関心に関すること…………… 観点(2)(3)
- (4) その他の特色について…………… 観点(1)～(4)
- (5) 全体的な表記・表現等について…………… 観点(1)(2)(4)

1 概括的な調査研究

(1) 内容項目別教材数

視点	内 容 項 目	教 材 数					
		1 年		2 年		3 年	
A	自主、自律、自由と責任	1(1)	5(2)	1(1)	5(2)	1(1)	6(1)
	節度、節制	1(1)		1(1)		2	
	向上心、個性の伸長	1		1		1	
	希望と勇気、克己と強い意志	1		1		1	
	真理の探究、創造	1		1		1	
B	思いやり、感謝	2(1)	7(1)	2	7	2	6(1)
	礼儀	1		1		1	
	友情、信頼	2		2		2	
	相互理解、寛容	2		2		1(1)	
C	遵法精神、公德心	2	13(1)	2	13(1)	1(1)	13(2)
	公正、公平、社会正義	1(1)		2		2	
	社会参画、公共の精神	2		2		2	
	勤労	2		1(1)		2	
	家族愛、家庭生活の充実	1		1		1	
	よりよい学校生活、集団生活の充実	1		1		1	
	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	2		1		1	
	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	1		2		1	
国際理解、国際貢献	1	1	2(1)				
D	生命の尊さ	3(1)	7(1)	3(1)	7(2)	3(1)	7(1)
	自然愛護	1		1		1	
	感動、畏敬の念	1		1		1	
	よりよく生きる喜び	2		2(1)		2	

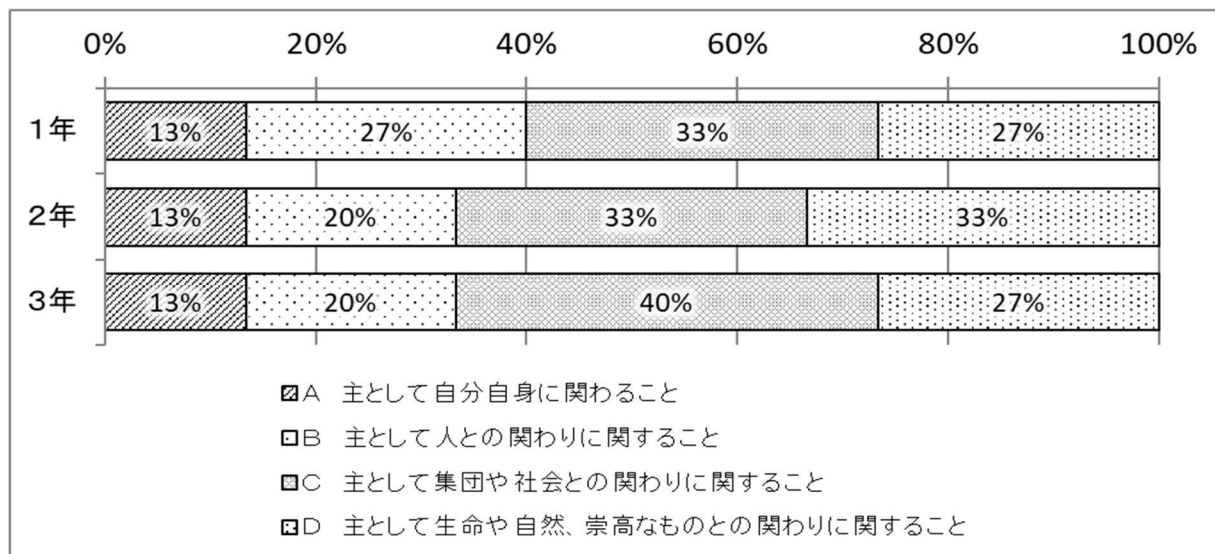
※ ( ) 内は、「付録」の教材数。

(2) 総頁数

※大きさはA B判

1 年	2 年	3 年
196	204	204

(3) 教材を複数配当している内容項目 (視点別)



※それぞれの内容項目を1時間ずつ実施したとき、残りの時間をどの内容項目に配当し、重複させているかを視点別に表したものの。

## 2 考えを深める学習に関すること

### (1) 問題解決的な学習について

- 全ての学年において、各教材の始めに「テーマ」が、各教材の終わりに「考えよう」「自分を見つめよう」が設定されている。
- 「問題解決的な学習」に関わる教材として、第1学年「その人が本当に望んでいること」第2学年「自分を信じて生きるとは……」第3学年「その子の世界、私の世界」が取り上げられている。

### (2) 道徳的行為に関する体験的な学習について

- 全ての学年において、「体験的な学習」として「ACTION!」が2か所設定されている。

### (3) 言語活動を充実する学習について

- 全ての学年において、巻頭に「話し合いの手引き」が設定されている。
- 全ての学年において、各教材「つぶやき欄」があり、巻末に「自分の学びを振り返ろう」が3枚ある。
- 全ての学年において、巻末の「付録」に「ホワイトボード用紙」がある。

### (4) 情報モラルや現代的な課題について

- 情報モラルに関わる教材として、第1学年「短文投稿サイトに友達の悪口を書くと」第2学年「ゴール」第3学年「合格通知」が取り上げられている。
- 全ての学年において、「いじめ問題対応ユニット」「生命尊重ユニット」が設定されている。
- 全ての学年において、「防災・安全」「環境・資源・エネルギー」「多様性」「伝統・文化」「キャリア教育」等、現代的な課題に関わる教材が複数取り上げられている。

## 3 生徒の生活や経験及び興味や関心に関すること

- 全ての学年において、インターネットを使った学習ができる教材が複数取り上げられており、該当する教材の始めに「Dマーク」が示されている。
- 全ての学年において、学校や地域の実情を考慮して活用できる「付録」がある。
- 全ての学年において、巻末の「付録」に「郷土のことを考える」が設定されている。

## 4 その他の特色について

- 全ての学年において、巻頭に「道徳の授業はこんな時間に」が設定されている。
- 全ての学年において、巻頭に「1年間で学ぶこと」が設定されている。
- 全ての学年において、巻末に、切り取って使える「心情円」がある。
- 全ての学年において、学習案内役のキャラクター「考えタイガー」「林先生、山本先生、久保田先生」「しょう」「あや」とともに学習に取り組めるようになっている。

## 5 全体的な表記・表現等について

- 全ての学年において、各教材、5行ごと行番号を配置している。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 全ての学年において、関連する教科がある場合に、該当する教材の題名の下に「教科関連マーク」が示されている。
- 全ての学年において、「つぶやき欄」には罫線がある。

1 概括的な調査研究

(1) 内容項目別教材数

視点	内容項目	教材数					
		1年		2年		3年	
A	自主、自律、自由と責任	2	7(1)	1	6(1)	1(1)	5(1)
	節度、節制	2		2		1	
	向上心、個性の伸長	1		1		1	
	希望と勇気、克己と強い意志	1(1)		1(1)		1	
	真理の探究、創造	1		1		1	
B	思いやり、感謝	2(1)	7(1)	2(1)	6(1)	1	5
	礼儀	1		1		1	
	友情、信頼	2		2		2	
	相互理解、寛容	2		1		1	
C	遵法精神、公德心	1	9(3)	2	13(3)	1	12(3)
	公正、公平、社会正義	1		2		1	
	社会参画、公共の精神	1		2(1)		3(1)	
	勤労	1		1		1	
	家族愛、家庭生活の充実	1		1		1	
	よりよい学校生活、集団生活の充実	1		1		1	
	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	1(3)		1(1)		1(1)	
	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	1		1		1(1)	
国際理解、国際貢献	1	2(1)	2				
D	生命の尊さ	3	7	2	5	3	8(1)
	自然愛護	1		1		2	
	感動、畏敬の念	1		1		1(1)	
	よりよく生きる喜び	2		1		2	

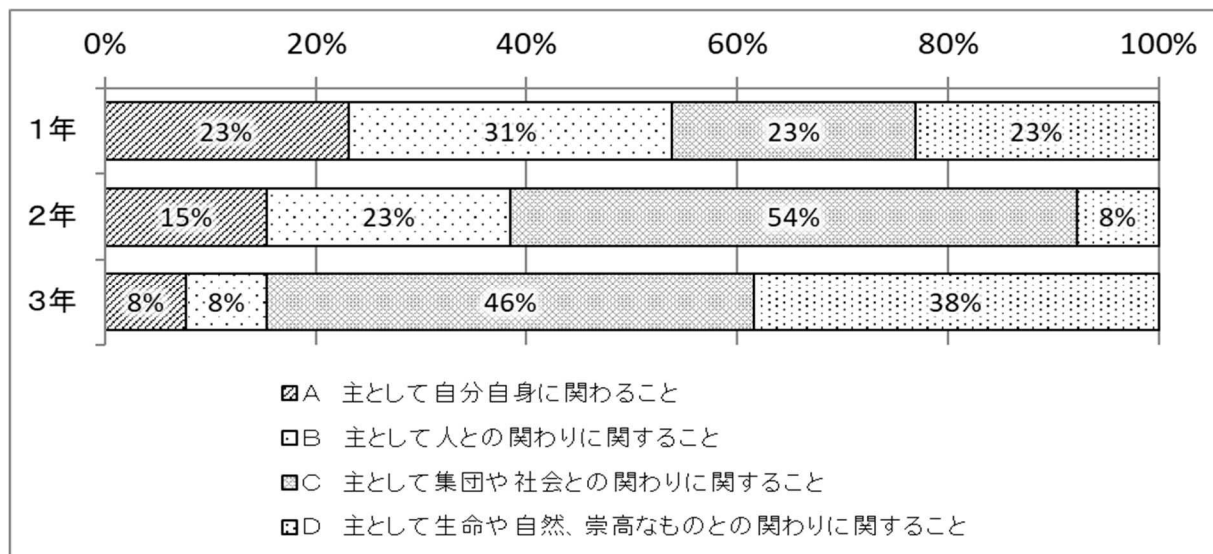
※ ( ) 内は、「補充教材」の教材数。

(2) 総頁数

※大きさはB5判

1年	2年	3年
218	202	202

(3) 教材を複数配当している内容項目 (視点別)



※それぞれの内容項目を1時間ずつ実施したとき、残りの時間をどの内容項目に配当し、重複させているかを視点別に表したもの。

## 2 考えを深める学習に関すること

### (1) 問題解決的な学習について

- 全ての学年において、各教材の始めに「導入の文章」が設定されている。
- 全ての学年において、各教材の終わりに「学びの道しるべ」が設定されている。
- 全ての学年において、「問題解決的な学習を取り入れた教材」が5つ取り上げられている。

### (2) 道徳的行為に関する体験的な学習について

- 「やってみよう」の教材として、第1学年「不自然な独り言」「裏庭でのできごと」第2学年「まるごと好きです」「譲る気持ちはあるのに……」第3学年「校長先生の模擬面接」が取り上げられている。

### (3) 言語活動を充実する学習について

- 全ての学年において、巻頭に「道徳科で学びを深めるために」が設定されており、「考え、話し合う」が示されている。
- 全ての学年において、巻末に「道徳の学びを記録しよう」がある。
- 全ての学年において、巻末に「道徳の学びを振り返ろう」が3枚、「1年間の道徳の学びを振り返ろう」が1枚ある。

### (4) 情報モラルや現代的な課題について

- 情報モラルに関わる教材として、第1学年「自分で決める」「ルールとマナー」第2学年「SNSとどうつき合う?」「本当の友達って」第3学年「歩きスマホをどうするか」が取り上げられている。
- 全ての学年において、「生命の尊さについて考えるユニット」「いじめや差別のない社会について考えるユニット」が設定されている。
- 全ての学年において、「自然環境保全」「持続可能な発展」「生命倫理」等、現代的な課題に関わる教材が複数取り上げられている。

## 3 生徒の生活や経験及び興味や関心に関すること

- 全ての学年において、インターネットを使った学習ができる教材が複数取り上げられており、該当する教材の最後に「まなびリンク」マークが示されている。
- 全ての学年において、学校や地域の実情を考慮して活用できる「補充教材」がある。
- 全ての学年において、巻末の「資料」に「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」が設定されている。
- 全ての学年において、巻末の「これからを生きる皆さんへ」に、保護者記入欄がある。

## 4 その他の特色について

- 全ての学年において、巻頭に「道徳科での学びを深めるために」が設定されている。
- 全ての学年において、巻頭に「この教科書で学んでいくテーマ」別の目次が設定されている。
- 全ての学年において、「シリーズ教材」が2つ取り上げられている。

## 5 全体的な表記・表現等について

- 全ての学年において、各教材、5行ごと行番号を配置している。
- 全ての学年において、中学校配当の常用漢字の初出箇所及び固有名詞全てにルビが付けられている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている
- 第1学年において、10までの教材の文字が大きくなっている。

1 概括的な調査研究

(1) 内容項目別教材数

視点	内容項目	教材数					
		1年		2年		3年	
A	自主、自律、自由と責任	2	6	2	7(2)	1(1)	7(1)
	節度、節制	1		1(1)		1	
	向上心、個性の伸長	1		2		2	
	希望と勇気、克己と強い意志	1		1(1)		2	
	真理の探究、創造	1		1		1	
B	思いやり、感謝	2(1)	6(2)	1	5(1)	1(1)	5(2)
	礼儀	1		1		1	
	友情、信頼	1(1)		1(1)		1	
	相互理解、寛容	2		2		2*(1)	
C	遵法精神、公德心	1(1)	10(2)	1	10(1)	2	11(1)
	公正、公平、社会正義	2		2		2	
	社会参画、公共の精神	1		1		1	
	勤労	1		1		1(1)	
	家族愛、家庭生活の充実	1		1		1	
	よりよい学校生活、集団生活の充実	1(1)		1		1	
	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	1		1		1	
	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	1		1		1	
国際理解、国際貢献	1	1(1)	1				
D	生命の尊さ	3	7	3	7	3	7
	自然愛護	1		1		1	
	感動、畏敬の念	1		1		1	
	よりよく生きる喜び	2		2		2*	

※ ( ) 内は、「付録」の教材数。

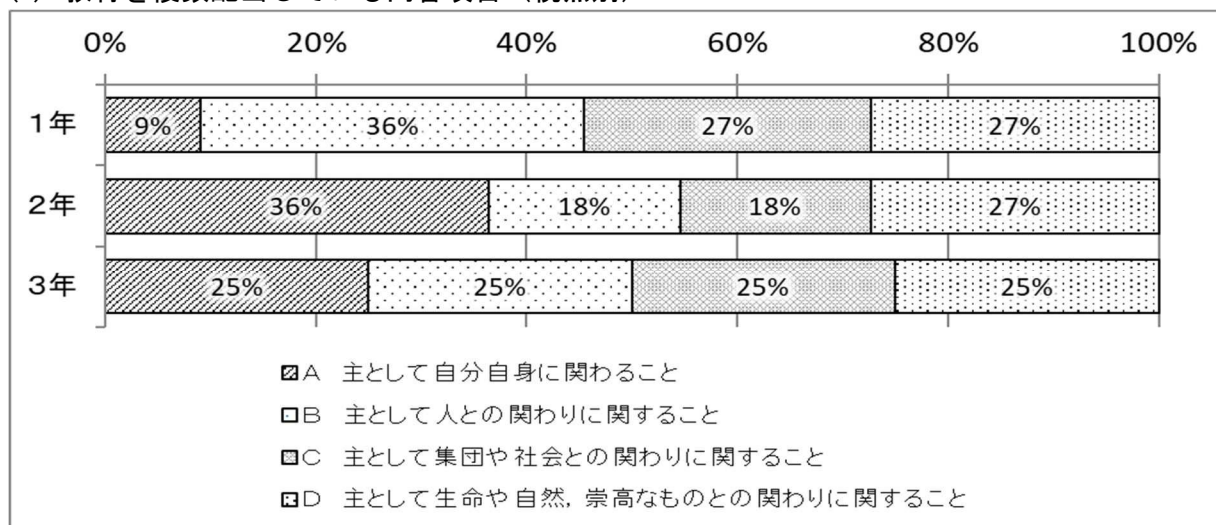
※ \*は、同一教材を含む。

(2) 総頁数

※大きさはB5判

1年	2年	3年
198	206	206

(3) 教材を複数配当している内容項目 (視点別)



※それぞれの内容項目を1時間ずつ実施したとき、残りの時間をどの内容項目に配当し、重複させているかを視点別に表したものの。



## 2 考えを深める学習に関すること

### (1) 問題解決的な学習について

- 全ての学年において、各教材に「考えよう」「見方を変えて」が設定されている。
- 全ての学年において、「深めたいむ」が複数設定されている。
- 「問題解決的な学習」に関わる教材として、第1学年「みんなで成功させよう」第2学年「テニス部の危機」第3学年「先人の言葉－『論語』」が取り上げられている。

### (2) 道徳的行為に関する体験的な学習について

- 全ての学年において、「見方を変えて」で道徳的行為に関する体験的な学習が1か所設定されている。
- 全ての学年において、「コラム」「付録」に「人と人との関係づくり」が設定されており、「他者とのよりよい関係を築くコツ」が示されている。

### (3) 言語活動を充実する学習について

- 全ての学年において、巻頭に「どうやって学ぶの？」が設定されており、『『他者』との対話』『自己』との対話』が示されている。
- 全ての学年において、「道徳の学びを振り返ろう」が設定されており、巻末に「学びの記録」が3枚ある。

### (4) 情報モラルや現代的な課題について

- 情報モラルに関わる教材として、第1学年「言葉の向こうに」第2学年「夢中になるのは悪いこと？」第3学年「闇の中の炎」が取り上げられている。
- 全ての学年において、「いじめを許さない心について考えるユニット」「コラム」が設定されている。
- 全ての学年において、「食育・健康・防災・安全」「キャリア」「法律」「福祉・共生」「伝統文化」「社会参画」等、現代的な課題に関わる教材が複数取り上げられている。

## 3 生徒の生活や経験及び興味や関心に関すること

- 全ての学年において、インターネットを使った学習ができる教材が複数取り上げられており、該当する教材の始めにQRコードがある。
- 全ての学年において、学校や地域の実情を考慮して活用できる「付録」がある。
- 巻末の「付録」に、第1学年「日本の郷土玩具」第2学年「日本各地の世界遺産」第3学年「日本の先駆者たち」が取り上げられている。
- 全ての学年において、該当する教材の終わりに「つなげよう」が設定されており、「他教科や日常生活との関連、他教材との関連、関連する図書の紹介等」が示されている。

## 4 その他の特色について

- 全ての学年において、巻頭に「道徳の授業を始めよう！」が設定されている。
- 全ての学年において、複数の教材を組み合わせた「ユニット」が設定されている。
- 全ての学年において、巻末に「教材別テーマ一覧」が設定されている。

## 5 全体的な表記・表現等について

- 全ての学年において、各教材、5行ごと行番号を配置している。
- 中学校以上配当の常用漢字及び固有名詞の初出箇所全てに黒字でルビが付けられている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 内容項目別教材数

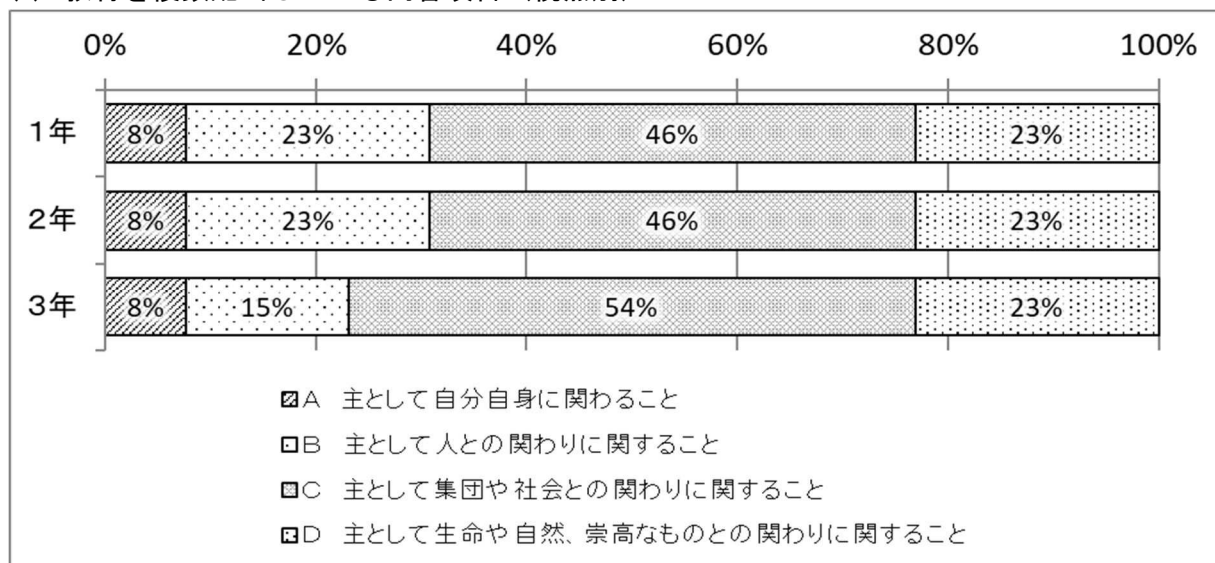
視点	内容項目	教材数					
		1年		2年		3年	
A	自主、自律、自由と責任	2	6	2	6	2	6
	節度、節制	1		1		1	
	向上心、個性の伸長	1		1		1	
	希望と勇気、克己と強い意志	1		1		1	
	真理の探究、創造	1		1		1	
B	思いやり、感謝	2	7	2	7	2	6
	礼儀	1		1		1	
	友情、信頼	3		3		2	
	相互理解、寛容	1		1		1	
C	遵法精神、公德心	2	15	2	15	2	16
	公正、公平、社会正義	2		2		2	
	社会参画、公共の精神	2		2		3	
	勤労	2		2		2	
	家族愛、家庭生活の充実	1		1		1	
	よりよい学校生活、集団生活の充実	1		1		1	
	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	2		1		1	
	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	1		2		2	
国際理解、国際貢献	2	2	2				
D	生命の尊さ	3	7	3	7	3	7
	自然愛護	1		1		1	
	感動、畏敬の念	1		1		1	
	よりよく生きる喜び	2		2		2	

(2) 総頁数

※大きさはB5判

	1年	2年	3年
本冊	198	198	198
別冊『道徳ノート』	42	42	42

(3) 教材を複数配当している内容項目 (視点別)



※それぞれの内容項目を1時間ずつ実施したとき、残りの時間をどの内容項目に配当し、重複させているかを視点別に表したものの。

## 2 考えを深める学習に関すること

### (1) 問題解決的な学習について

- 全ての学年において、各教材の終わりに「考えてみよう」「自分に+1」が設定されている。
- 全ての学年において、『問題解決的な学習』の進め方が設定されており、「問題解決的な学習」に関わる教材が4つ取り上げられている。

### (2) 道徳的行為に関する体験的な学習について

- 全ての学年において、『体験的な学習』の進め方が設定されており、「体験的な学習」に関わる教材が2つ取り上げられている。

### (3) 言語活動を充実する学習について

- 全ての学年において、巻頭に「道徳科での学び方」が設定されており、「学びをより深めるための手立て」が示されている。
- 全ての学年において、別冊『道徳ノート』に「自分の考え」「友達の見解」「話し合い」「自分への振り返り」等を記述する欄がある。
- 全ての学年において、別冊『道徳ノート』の巻末の「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」に「各学期末」に記述する欄がある。

### (4) 情報モラルや現代的な課題について

- 情報モラルに関わる教材として、第1学年「近くにいた友」「使っても大丈夫？」第2学年「五月の風ーカー」「五月の風ーミカー」「ネット将棋」第3学年「言葉の向こうに」が取り上げられている。
- 全ての学年において、『いじめ』と向き合うユニット「よりよい社会と私たちユニット」が設定されている。
- 全ての学年において、「生命の尊重」「社会参画」「伝統・文化」「国際理解」等、現代的な課題に関わる教材が複数取り上げられている。

## 3 生徒の生活や経験及び興味や関心に関すること

- 全ての学年において、インターネットを使った学習ができる教材が、5つ取り上げられており、該当する教材名の右下にマークが示されている。
- 全ての学年において、「プラットフォーム」が設定されており、該当する教材が複数取り上げられている。
- 全ての学年において、別冊『道徳ノート』に「自分について書いてみよう」が設定されている。
- 全ての学年において、別冊『道徳ノート』の巻末の「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」に、保護者記入欄がある。

## 4 その他の特色について

- 全ての学年において、巻頭に「道徳科で学ぶこと・道徳科での学び方」が設定されている。
- 全ての学年において、巻頭に「この教科書で学ぶテーマ」別の目次が設定されている。
- 全ての学年において、別冊『道徳ノート』の巻末に「フリーノート」が3ページある。
- 全ての学年において、教材の題名の下に「登場人物」が示されている。

## 5 全体的な表記・表現等について

- 全ての学年において、各教材、5行ごと行番号を配置している。
- 全ての学年において、各教材、中学校で学習する漢字及び固有名詞等にルビが付けられている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。
- 全ての学年において、別冊『道徳ノート』の記述欄にドット罫がある。

1 概括的な調査研究

(1) 内容項目別教材数

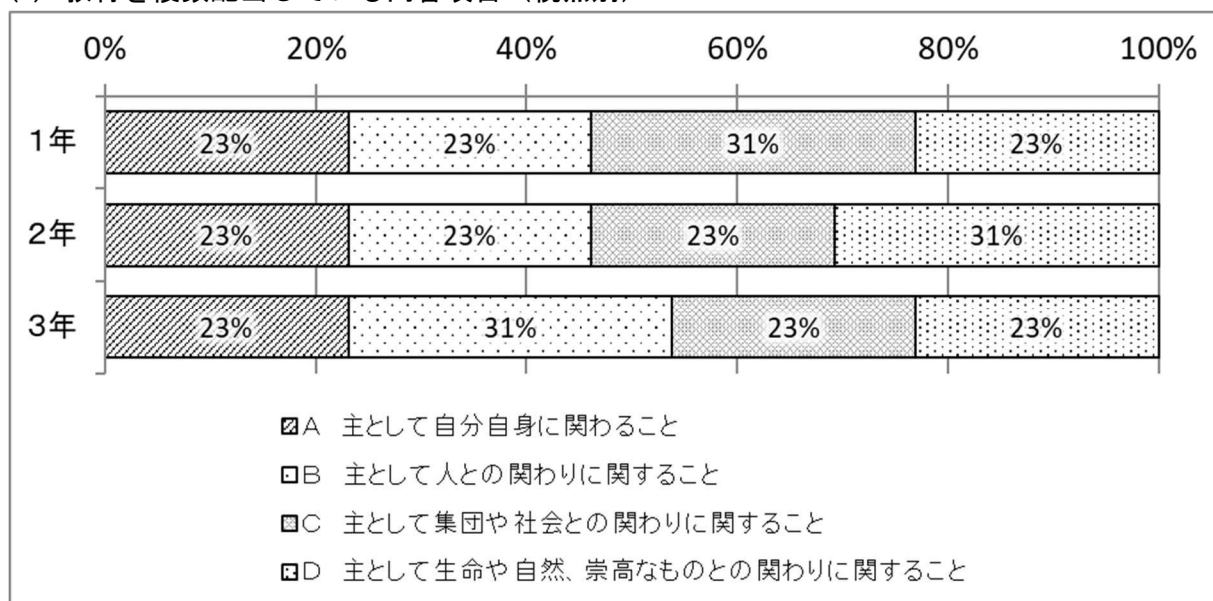
視点	内容項目	教材数					
		1年		2年		3年	
A	自主、自律、自由と責任	2	8	2	8	2	8
	節度、節制	2		2		2	
	向上心、個性の伸長	1		1		1	
	希望と勇気、克己と強い意志	2		1		1	
	真理の探究、創造	1		2		2	
B	思いやり、感謝	2	7	2	7	3	8
	礼儀	1		1		1	
	友情、信頼	3		2		2	
	相互理解、寛容	1		2		2	
C	遵法精神、公德心	2	13	2	12	2	12
	公正、公平、社会正義	2		1		1	
	社会参画、公共の精神	1		2		1	
	勤労	1		1		1	
	家族愛、家庭生活の充実	1		1		1	
	よりよい学校生活、集団生活の充実	2		2		1	
	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	1		1		1	
	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	1		1		1	
国際理解、国際貢献	2	1	3				
D	生命の尊さ	3	7	3	8	3	7
	自然愛護	1		2		1	
	感動、畏敬の念	1		1		1	
	よりよく生きる喜び	2		2		2	

(2) 総頁数

※大きさはA B判

1年	2年	3年
186	198	198

(3) 教材を複数配当している内容項目 (視点別)



※それぞれの内容項目を1時間ずつ実施したとき、残りの時間をどの内容項目に配当し、重複させているかを視点別に表したものの。

## 2 考えを深める学習に関すること

### (1) 問題解決的な学習について

- 全ての学年において、各教材の終わりに「考えよう」が設定されている。
- 全ての学年において、「深めよう」が複数設定されている。
- 「問題解決的な学習」に関わる教材として、第1学年「うわさで決めるの？」第2学年「ごみ収集場所をどこに」「未来から来たおじいさん」「私は大丈夫～そんな気持ちはないですか」が取り上げられている。

### (2) 道徳的行為に関する体験的な学習について

- 全ての学年において、「クローズアッププラス」に「メンタルトレーニング」「アンガーマネジメント」「自己肯定感」に関わる活動が設定されている。
- 全ての学年において、「深めよう」が設定されており、「やってみよう」が示されている。

### (3) 言語活動を充実する学習について

- 全ての学年において、巻頭に「考えを深める四つのステップ」が設定されており、「話し合おう」が示されている。
- 全ての学年において、各教材「メモ欄」があり、巻末に「学びの記録」が4枚ある。

### (4) 情報モラルや現代的な課題について

- 情報モラルに関わる教材として、第1学年「うわさで決めるの?」「日曜日の朝に」第2学年「つい言い過ぎて」第3学年「アップロード ダウンロード」「便利なスマホ 使い方次第」が取り上げられている。
- 全ての学年において、「ユニット学習」として、「地球と地域の未来のために」「夢に向かって共に輝く」が設定されている。
- 全ての学年において、「食育」「健康教育」「消費者教育」「防災教育」「福祉に関する教育」「法教育」「社会参画に関する教育」「伝統文化教育」「国際理解教育」「キャリア教育」「社会の持続可能な発展 (ESD)」等、現代的な課題に関わる教材が複数取り上げられている。

## 3 生徒の生活や経験及び興味や関心に関すること

- 全ての学年において、インターネットを使った学習ができる教材が複数取り上げられており、該当する教材の始めにマークが示されている。
- 全ての学年において、「クローズアップ」「クローズアッププラス」が設定されており、「関連情報」が示されている。
- 全ての学年において、巻頭に「マイプロフィール」が設定されている。

## 4 その他の特色について

- 全ての学年において、巻頭に「道徳で学ぶこと・考えること」が設定されている。
- 全ての学年において、巻頭に「より良く生きるための22の鍵」「さまざまなテーマで学ぼうー主な教材の紹介」が設定されている。
- 全ての学年において、各教材の題名の下に「キーフレーズ」が示されている。

## 5 全体的な表記・表現等について

- 全ての学年において、各教材、5行ごと行番号を配置している。
- 全ての学年において、中学校に配当されている漢字及び常用漢字外の漢字にルビが付けられている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。
- 全ての学年において、「メモ欄」に罫線がある。

1 概括的な調査研究

(1) 内容項目別教材数

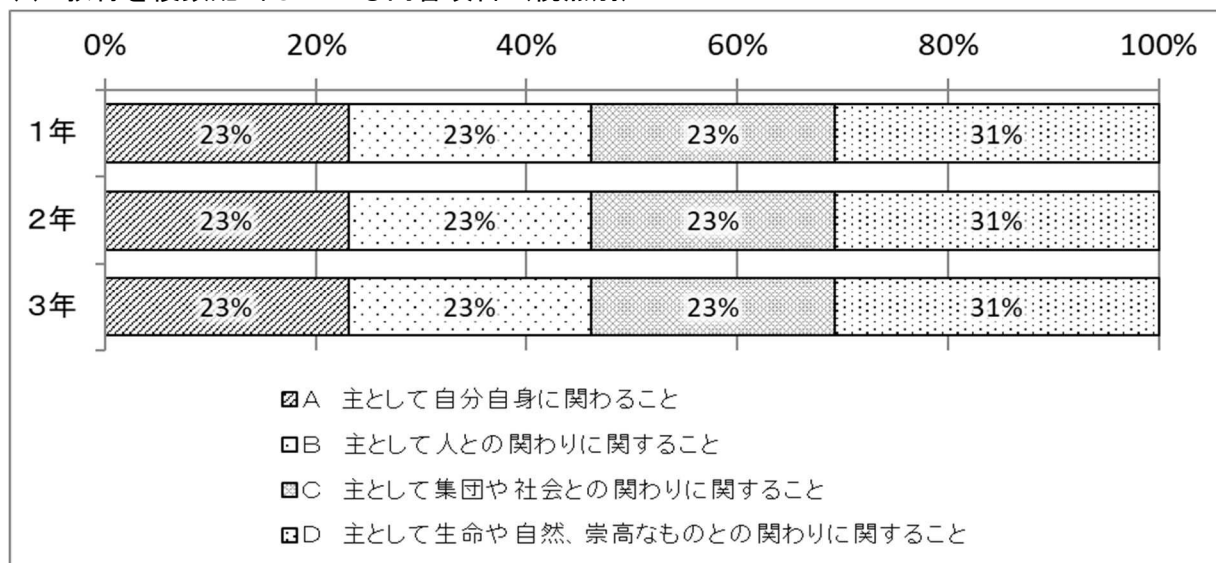
視点	内 容 項 目	教 材 数					
		1 年		2 年		3 年	
A	自主、自律、自由と責任	3	8	3	8	3	8
	節度、節制	1		1		1	
	向上心、個性の伸長	1		1		1	
	希望と勇気、克己と強い意志	2		2		2	
	真理の探究、創造	1		1		1	
B	思いやり、感謝	3	7	3	7	3	7
	礼儀	1		1		1	
	友情、信頼	2		2		2	
	相互理解、寛容	1		1		1	
C	遵法精神、公德心	2	12	2	12	2	12
	公正、公平、社会正義	2		2		2	
	社会参画、公共の精神	1		1		1	
	勤労	1		1		1	
	家族愛、家庭生活の充実	2		2		2	
	よりよい学校生活、集団生活の充実	1		1		1	
	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	1		1		1	
	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	1		1		1	
国際理解、国際貢献	1	1	1				
D	生命の尊さ	3	8	3	8	3	8
	自然愛護	1		1		1	
	感動、畏敬の念	1		1		1	
	よりよく生きる喜び	3		3		3	

(2) 総頁数

※大きさはA B判

	1 年	2 年	3 年
本冊	186	170	166
別冊『中学生の道徳ノート』	52	52	52

(3) 教材を複数配当している内容項目 (視点別)



※それぞれの内容項目を1時間ずつ実施したとき、残りの時間をどの内容項目に配当し、重複させているかを視点別に表したものの。

## 2 考えを深める学習に関すること

### (1) 問題解決的な学習について

- 全ての学年において、各教材の終わりに「考える・話し合う」が設定されており、「学習の手がかり」「考えを広げる・深める」が示されている。
- 全ての学年において、「考えを広げる・深める」で「問題解決的な学習を促す問い」が設定されている。
- 全ての学年において、「問題解決的な学習を促す教材」が複数取り上げられている。

### (2) 道徳的行為に関する体験的な学習について

- 全ての学年において、「道徳的行為に関する体験的な学習を促す教材」が複数取り上げられている。
- 全ての学年において、「考えを広げる・深める」で「体験的な学習を促す問い」が設定されている。

### (3) 言語活動を充実する学習について

- 全ての学年において、巻頭に「道徳の時間とは」が設定されており、「ともに考え、話し合う」「書くことで、考えを深める」が示されている。
- 全ての学年において、別冊『中学生の道徳ノート』に「学習の記録」を記述する欄がある。
- 全ての学年において、別冊『中学生の道徳ノート』の巻末に「心に残っている授業の記録」を記述する欄が3つある。

### (4) 情報モラルや現代的な課題について

- 情報モラルに関わる教材として、第1学年「ネット将棋」「言葉の向こうに」第2学年「いつでも・どこでも・誰とでも」「君、想像したことある？」第3学年「ピヨ子」が取り上げられている。
- 全ての学年において、「生命の尊厳」「社会参画」「自然」「伝統と文化」「先人の伝記」「スポーツ」等、現代的な課題や多様な題材に関わる教材が複数取り上げられている。

## 3 生徒の生活や経験及び興味や関心に関すること

- 全ての学年において、インターネットを使った学習ができる教材が複数取り上げられており、該当する教材の始めに「インターネット」のマークが示されている。
- 全ての学年において、別冊『中学生の道徳ノート』に「特集」がある。
- 全ての学年において、別冊『中学生の道徳ノート』の巻頭に「中学〇年生の私」が設定されている。

## 4 その他の特色について

- 全ての学年において、巻頭に「道徳の時間とは」が設定されている。
- 全ての学年において、各教材の終わりに「先人や現在活躍している著名人の言葉」が設定されている。
- 全ての学年において、別冊『中学生の道徳ノート』に「心のしおり」がある。
- 全ての学年において、教材「アイツ」がシリーズで取り上げられている。

## 5 全体的な表記・表現等について

- 全ての学年において、各教材、5行ごと行番号を配置している。
- 全ての学年において、中学校配当の漢字及び未習漢字全てにルビが付けられており、固有名詞は初出のみルビが付けられている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。
- 全ての学年において、別冊『中学生の道徳ノート』の「内容項目（道徳的諸価値）の解説」は、上段が文章、下段が資料・写真の構成になっている。

1 概括的な調査研究

(1) 内容項目別教材数

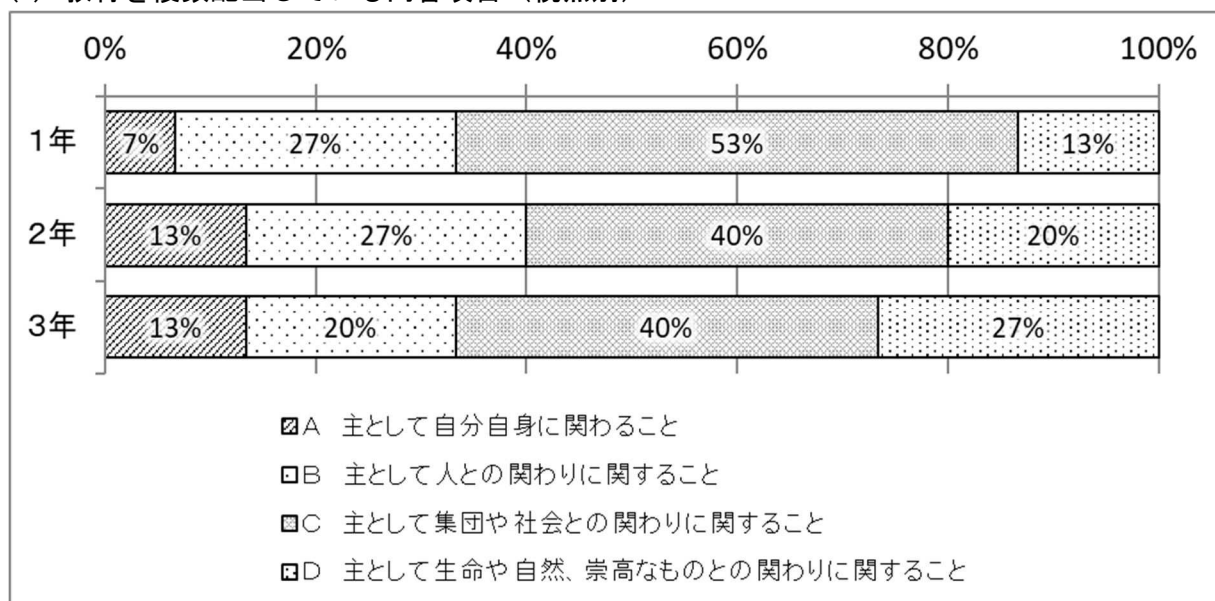
視点	内容項目	教材数					
		1年		2年		3年	
A	自主、自律、自由と責任	1	6	2	7	2	7
	節度、節制	1		1		1	
	向上心、個性の伸長	2		2		1	
	希望と勇気、克己と強い意志	1		1		2	
	真理の探究、創造	1		1		1	
B	思いやり、感謝	2	8	1	8	2	7
	礼儀	1		1		1	
	友情、信頼	3		3		3	
	相互理解、寛容	2		3		1	
C	遵法精神、公德心	3	17	2	15	2	15
	公正、公平、社会正義	3		2		2	
	社会参画、公共の精神	3		2		2	
	勤労	1		2		1	
	家族愛、家庭生活の充実	2		1		2	
	よりよい学校生活、集団生活の充実	1		1		1	
	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	2		2		1	
	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	1		2		2	
国際理解、国際貢献	1	1	2				
D	生命の尊さ	2	6	2	7	3	8
	自然愛護	1		1		1	
	感動、畏敬の念	1		1		1	
	よりよく生きる喜び	2		3		3	

(2) 総頁数

※大きさはB5判

1年	2年	3年
194	194	194

(3) 教材を複数配当している内容項目 (視点別)



※それぞれの内容項目を1時間ずつ実施したとき、残りの時間をどの内容項目に配当し、重複させているかを視点別に表したものの。



## 2 考えを深める学習に関すること

### (1) 問題解決的な学習について

- 全ての学年において、各教材の終わりに「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」が設定されている。
- 第1、3学年において、「考えてみよう」が1か所設定されている。

### (2) 道徳的行為に関する体験的な学習について

- 第1学年において、「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」に、体験を促す「設問」が設定されている。

### (3) 言語活動を充実する学習について

- 全ての学年において、巻頭に「道徳科って何を学ぶの？」が設定されており、「多様な考えを知るために」が示されている。
- 全ての学年において、巻末に「〇年生の心の成長を振り返りましょう」が設定されている。
- 第1学年において1か所、第2学年において2か所「書いてみよう」が設定されている。
- 第2学年において1か所、第3学年において2か所「話してみよう」が設定されている。

### (4) 情報モラルや現代的な課題について

- 情報モラルに関わる教材として、第1学年「グループ」第2学年「ネット将棋」「言葉の向こうに」第3学年「一通のメッセージから始まる物語」が取り上げられている。
- 全ての学年において、「人権」「人間関係」「福祉」「環境」「遵法」「生命の連続性」「社会参画」等、現代的な課題に関わる教材が複数取り上げられている。

## 3 生徒の生活や経験及び興味や関心に関すること

- 全ての学年において、授業時間数より多い数の教材が取り上げられている。
- 全ての学年において、巻頭に「教科書の使い方」が設定されており、「学校で 家庭で 地域・社会で」が示されている。
- 全ての学年において、巻頭の「教科書の使い方」に「今の僕、私」が設定されている。
- 第1、2学年において、巻末の「〇年生の道徳の時間を振り返りましょう。」に「道徳の時間で学んだことを実際の生活で生かした人」がその場面について記述する欄があり、第3学年において、巻末の「私の道徳記録」に「道徳の時間で学んだことで、実際の生活の中で生かされたこと」を記述する欄がある。

## 4 その他の特色について

- 全ての学年において、巻頭に「道徳科って何を学ぶの？」が設定されている。
- 全ての学年において、教材「リョウとマキ」がシリーズで取り上げられている。
- 第3学年において、巻末に、3年間の道徳の授業について振り返る「私の道徳記録」が設定されている。
- 全ての学年において、教材は学習指導要領の内容項目順に配列されている。

## 5 全体的な表記・表現等について

- 全ての学年において、各教材、5行ごと行番号を配置している。
- 全ての学年において、各教材の題名の上に、内容項目に対応した番号が記されている。
- 全ての学年において、各教材の終わりの「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」が敬体で示されている。

